

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正かつ迅速な事務処理	目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—			①支払事務を迅速に行うためには、正確な経理事務を行う必要がある ②公金の適正管理、運用を行うため			
活動指標	指標	a	経理事務説明会の実施	b	公金管理運営委員会の開催	c		d
	数値	目標	年2回(H23~)	目標	年2回	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H24	H25	H26
適正かつ迅速な事務処理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H24	H25	H26
a 経理事務説明会の実施	回	1回	1回	2回
		50.0%	50.0%	100.0%
b 公金管理運営委員会の開催	回	2回	2回	2回
		100.0%	100.0%	100.0%
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
財務会計システム等の周知・徹底に努めているものの、経理事務に不備が生じるケースがある。
対応（改善点等）
一般職及び管理・監督職を対象とした説明会を実施すると共に庁内ネットワークを利用し、経理事務の周知・徹底を図る。また、公金の取扱及び事務処理について指導、検査を行う。

5. 事業費・・・H24～H26（決算額）、H27（予算現額）

決算額（千円）		H24	H25	H26	H27
		2,425	1,577	2,175	1,405
うち経常経費		2,425	1,577	1,019	1,405
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他				
	一般財源	2,425	1,577	2,175	1,405
うち経常		2,425	1,577	1,019	1,405
事業費に係る人件費		30,056	25,020	25,549	25,020
事業費に係る人役		7.00	5.74	5.76	5.61

6. H28年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
会計事務処理に必要な事務費である。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 必要不可欠な事業である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
④ 事業の有効性	成果指標の判断	2 更に公金出納事務の適正化に努める必要がある

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き公金の適正管理に努めること。